



令和4年度からの 幼保小連携推進協議会の体制について

札幌市教育委員会 幼児教育センター担当課
指導主事 本間 真純

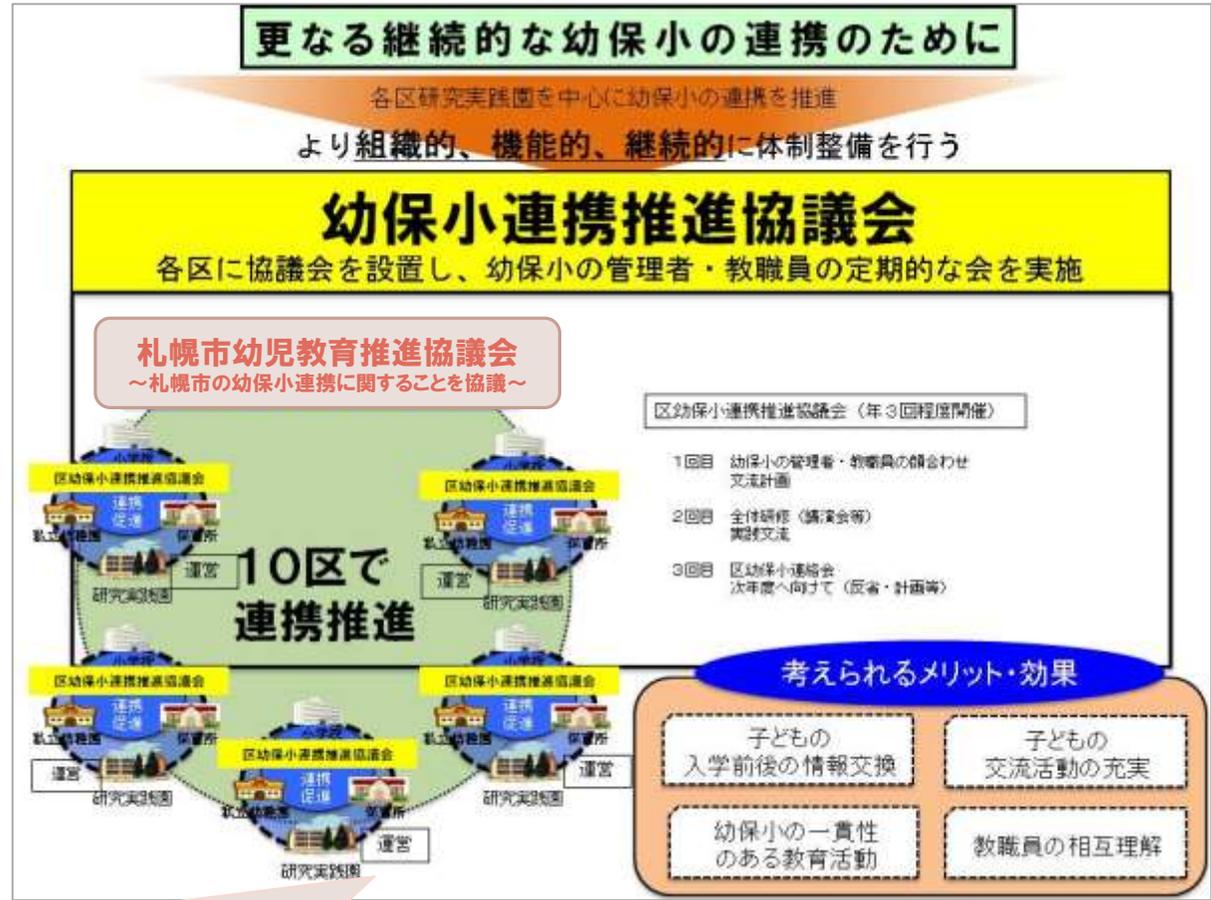
区幼保小 連携推進協議会

10年間の成果

協議会の目的

子どもの発達や学びの連続性を保障し、幼児期と児童期の円滑な接続のため

市立幼稚園長が区幼児教育コーディネーターとして代表者会を運営



顔が見える関係を構築

就学時に幼児の実態及び支援内容を引継
「小学校はゼロからのスタートじゃない」を認識

幼児期の学びが 小学校以降の 学びの基盤に

課題

幼児教育の質向上

幼保小教職員の学び
合い

幼児期の学びを生か
した小学校の教育（ス
タートカリキュラム）

国の動向



札幌市の動向



令和2年5月

市立幼稚園の今後の在り方に関する方針 策定

幼保小連携モデル園・校事業開始

令和5年度に手引を作成

テーマ

学びをつなぐ幼保小連携・接続

～幼児期の教育と児童期の教育の理解を深める～

第1回

知る

5/31 全市研修会

第2回

学ぶ

10/18または10/19
ブロック研修会

第3回

支援を
つなぐ

1/12 幼保小連絡会

協議会はずながいのきっかけ

全市共通で
幼保小連携・接続
について学ぼう！

「連携」とは？

「接続」とは？

その効果とは？

小学校において育みたい資質・能力に どのようにつなぐ？つながる？

知識・技能

思考力・判断力・
表現力等

学びに向かう力・
人間性等

何をつなぐ？

知識・技能の基礎



自分のことは
自分でできるよ

体を動かすって
楽しいね

分かった！できた！

他

思考力・判断力・表現力等の基礎

もしかしたら
こうなるかも…

次はこんな風に
してみたいな

これってどういうことかな

他



遊びを通して
総合的に

学びに向かう力・人間性等



ぼくってすごい！あの子も素敵！

諦めないぞ またやってみよう！

おもしろそう 他

幼児教育において育みたい資質・能力

資質・能力の3つの柱

令和4年度 第1回幼保小連携推進協議会 全市研修会

学びをつなぐ幼保小連携・接続

幼保小連携・接続～具体と課題を「知る」

令和4年5月31日（火）かでの2・7から配信

札幌市立三角山小学校 校長 渋谷 一典



引用：（リフレット：札幌市の幼稚園・保育所・小学校の連携・接続）

幼児期の教育	小学校からの教育
<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通して身体感覚を伴う多様な活動を体験する 豊かな感性を養う 義務教育等の基礎を培う 	<ul style="list-style-type: none"> 有する能力を伸ばす 社会において自立して生きる基礎を培う 国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う
遊びが中心	教科等の学習が中心
教育内容や指導方法は異なる	
子どもの発達や学びは連続	

更なる継続的な幼保小の連携のために

各区研究実践圏を中心に幼保小の連携を推進

より組織的、機能的、継続的に体制整備を行う

幼保小連携推進協議会

各区に協議会を設置し、幼保小の管理者・教職員の定期的な会を実施

札幌市幼保小連携推進協議会（年1回開催）

区幼保小連携推進協議会（年3回開催）

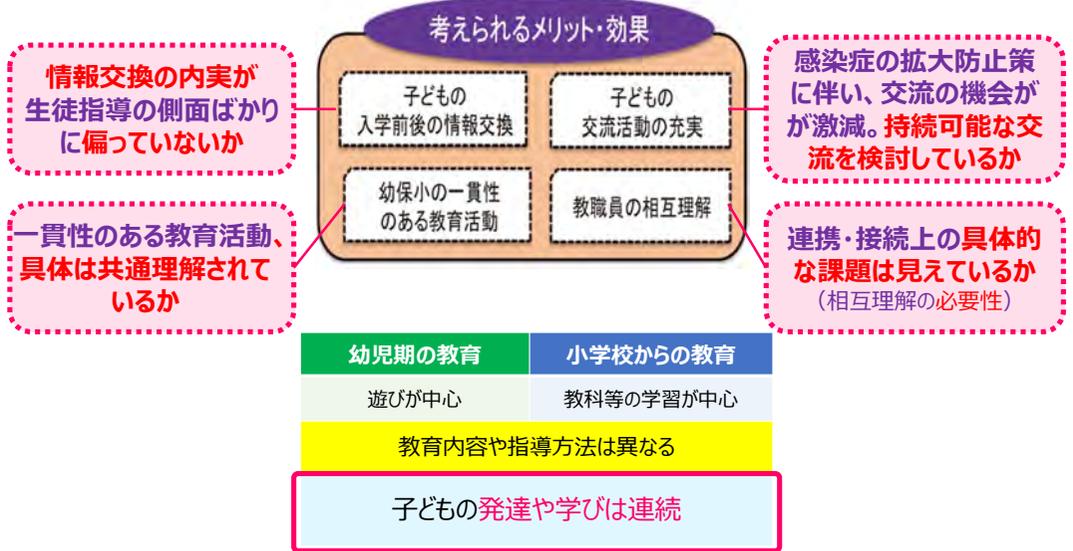
- 1回目 幼児小の管理者・教職員の顔合わせ 交流計画
- 2回目 全体研修（講演会等） 実践交流
- 3回目 区幼保小連携会 次年度へ向けて（反省・計画等）

考えられるメリット・効果

子どもの入学前後の情報交換	子どもの交流活動の充実
幼保小の一貫性のある教育活動	教職員の相互理解

考えられるメリット・効果	
子どもの入学前後の情報交換	子どもの交流活動の充実
幼保小の一貫性のある教育活動	教職員の相互理解

引用：（リフレット：札幌市の幼稚園・保育所・小学校の連携・接続）



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続



つぎは、どうしたい?
ドリンクサーバーにボタンをつけるといいんじゃない?

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

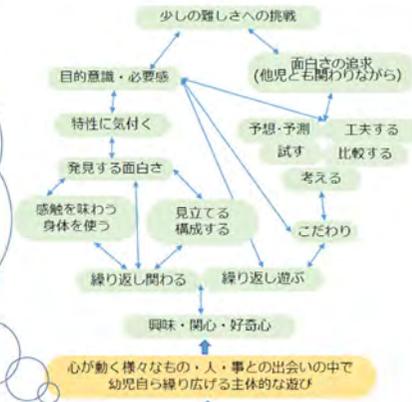
教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

【遊びのプロセスの例のイメージ】



- ものを転がす遊び-
- 様々な角度、素材で試す
- アイデアを出し合う
- 友達と関わる
- 順番にする
- 片づけをする など



※こうした活動を通して、転がる仕組みに気付いたり、気付いたことをもとに思考したり、いろいろなことを試したいと思ったなど、幼児期にふさわしい形で興味・能力が育まれていく。

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続



(参考) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- (1) 興味・関心と意欲
日常生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
- (2) 自立心
身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなやかにいろいろなことを自覚し、自分の力で行動し、ともに考えたり、工夫しよしながら、諦めずにやり続けることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
- (3) 協調性
友達と関わる中で、おもしろいや楽しめなどを楽しみ、共通の目的の達成に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり続けるようになる。
- (4) 記憶力・物覚えの良さ
友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の良い姿に共感したり、相手の立場に立って行動するようになる。また、あまり多すぎる必要が分からず、自分の気持ちや言葉、友達と新しい言いまわしを聞きながら、よきよきをつくり、守りつづけるようになる。
- (5) 社会生活の関わり
家族を大切にしようとする気持ちをもちととて、地域の福祉や人と関わりあう中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えたり関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に誇りをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断し、行動するようになる。また、必要に応じて、必要に応じて行動するようになる。また、公共の施設を大切に利用するようになって、社会とのつながりなどを意識するようになる。

- (6) 思考力の発達
身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の良い考えに驚いたり、自分と異なる考えがあることに気付く。自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
- (7) 創造力の関わり・主体的活動
自然に親しみを感じる体験を通して、自然の音や匂いなどを感知したり、好奇心や探究心をもって発見や発見などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるようになる。自然への感情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされ、生命の不思議さや尊厳に気付く。身近な動植物への優しさを考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。
- (8) 読書や視聴覚・情報や文字などへの関心・意欲
遊びや生活の中で、絵画や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自分の必要に応じてこれらを活用し、興味や関心、意欲をもつようになる。
- (9) 言葉による伝え合い
先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、意味したことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をわくようになる。
- (10) 豊かな感情と表現
心を動かす出来事などに感情の揺らぎを感じながら、様々な素材の質感や表現の仕方などに気付く。感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をわくようになる。

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版) 文部科学省

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

スタートカリキュラムを構成する活動の類型

	一人一人が安心感を持ち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした活動(安心をつくる時間)
	総合的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動
	教科等を中心とした学習活動

発達や学びをつなぐスタートカリキュラム(平成30年4月10日国立教育政策研究所)から引用

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日
朝	朝の支度 <のんびりタイム>				
1	<なかよしタイム> ①朝の会(元気づけ、発出物や連絡帳の確認、連絡など) ②歌おろし、踊ろう ③みんなであそぼう(簡単なゲームなど) ④読み聞かせを聞こう ⑤お話をしよう(グループ、全体)				
2	<なかよしタイム> 手遊び、歌 入学式の事前指導	国 国 国 <なかよしタイム> ・自己紹介をしよう ・ゲームを覚えて、グループでお話をしよう	生 生 生 <おしゃべりタイム> ・準備の遊び ・見つけたことなどを絵に表す。	国 国 国 <ぐんぐんタイム> ・初めて書いた名前 ・どうぞよろしく(名刺作りなど)	国 国 国 <ぐんぐんタイム> ・どうぞよろしく(名刺作りなど)
3	行 行 入学式	生 生 生 <おしゃべりタイム> 準備の遊び (絵と一緒に記念写真など)	国 国 国 <おしゃべりタイム> ・給食の準備はてなを出し合う。 ・卒業生と話し合う。 ・給食の準備や片付け、食べるルールなどを話し合う。	生 生 生 <おしゃべりタイム> ・給食の準備はてなを出し合う。 ・卒業生と話し合う。 ・給食の準備や片付け、食べるルールなどを話し合う。	国 国 国 <ぐんぐんタイム> ・なかよし遊び
4	<なかよしタイム> 手遊び、歌 入学式の事後指導 自己紹介	下校指導	下校指導	学 学 学 ・給食準備	国 国 国 <ぐんぐんタイム> ・なかよし遊び
5	給食指導 下校指導				

発達や学びをつなぐスタートカリキュラム(平成30年4月10日国立教育政策研究所)から引用

なかよしタイム

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

午前8時20分



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

午前8時20分



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

午前8時20分



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

午前8時40分



午前8時20分

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム



午前8時40分

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム



1時間目

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

わくわくタイム



カブトムシの幼虫
が大変なんです！

先生！**不思議な土**
がいるんだって！

霧吹きで水やりと、
特別な土が必要だよ

土に詳しい〇〇さんを
朝礼台のところで見たよ

1時間目



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

1時間目



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

1時間目

合科的・関連的な指導

提案方	タイプ(例)
各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">生活科</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">他教科</div> </div>

生活科として育成を目指す資質・能力

国語科として育成を目指す資質・能力

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

1時間目



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

3 時間目



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

4 時間目



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

なかよしタイム

わくわくタイム

ぐんぐんタイム

幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

遊びは幼児にとっての学び

幼児期の経験
を生かす

自覚的な学び (小学校)



幼児期の教育 小学校からの教育

遊びが中心 教科等の学習が中心

教育内容や指導方法は異なる

子どもの発達や学びは連続

遊びは幼児にとつての学び

幼児期の経験を
生かす

自覚的な学び (小学校)

(生活科における学習のプロセスの例)

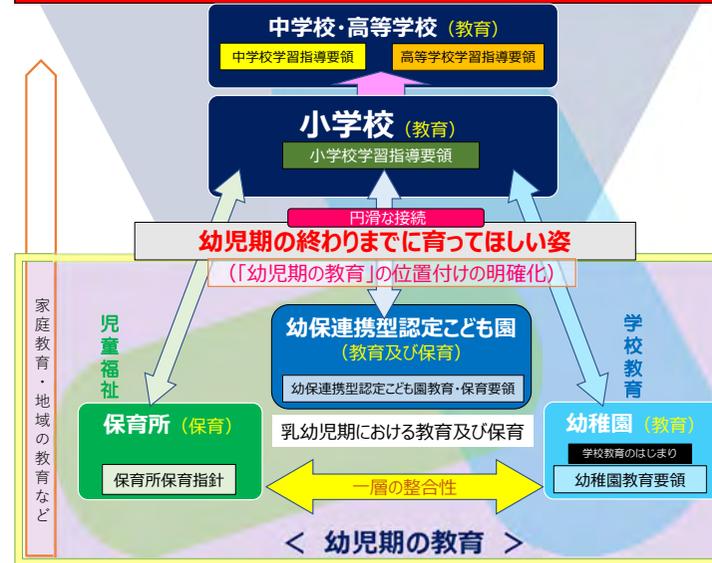
一連の学習活動の「まとまり」としての単元の中で、体験活動と表現活動とが繰り返されることで、児童の学びの質を高め、資質・能力を育成していく。例えば、以下の①～④の学習過程を基本にして、単元にふさわしい展開をつくることが重要である。(実際の学習活動は一体的に行われ、体験と表現が繰り返されることにも留意)

- ① 思いや願いをもつ
- ② 活動や体験をする
- ③ 感じる・考える
- ④ 表現する・行為する (伝え合う・振り返る)



※他教科等においても、その特質に応じた学習のプロセスを重視している。

幼稚園教育・保育所保育・幼保連携型認定こども園における教育と保育の整合性
小学校教育との円滑な接続に向けて (イメージ)



幼保小連携の成果

- 3要領・指針の整合性の確保
- 幼保小接続期の連携の手掛かりとして「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を策定

※ 3要領・指針とは、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をいう。

幼保小連携の課題

- ▼ 行事の交流等にとどまり、資質・能力をつなぐまでに至っていない
- ▼ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が連携の手掛かりとして十分機能していない
- ▼ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」だけでは、具体的なカリキュラムの工夫や教育方法の改善方法がわからない
- ▼ 小学校側の取組が、教育方法の改善にまで踏み込めていない

接続期の学びや
生活の基盤の育成に影響

札幌市の
幼稚園・保育所・小学校
の連携・接続



発達や学びをつなぐ
スタートカリキュラム

スタートカリキュラム導入・実施の手引き

文部科学省
国立教育政策研究所
教育課程研究センター 編纂

別添1

幼保小の架け橋プログラムの実施に
向けての手引き (初版)

製作事務局

札幌市教育委員会